

笹田 哲（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 笹田哲：発達性協調運動障害。「小児内科」「小児外科」編集委員会共編. 小児疾患のための病態生理 3 改定第6版. 東京医学社. 744-747. 2022. 12.
- 2) 笹田哲：発達性協調運動障害のある子どもへの遊び・学習の支援法～作業療法学の視点から～. バイオメカニズム学会誌 Vol. 46 No. 2, 84-88. 2022. 4.
- 3) 笹田哲：作業療法評価学概論 QOL、興味、役割の評価. 医学書院. 2023. 4.

2 学術論文

- 1) Ikeda, K., Sasada, S. (2022). Development of a new scale for the measurement of interprofessional collaboration among occupational therapists, physical therapists and speech-language therapists. *Hong Kong Journal of Occupational Therapy*, 15691861221111439.
- 2) 濱田匠, 笹田哲. (2022). 重症心身障害児の特別支援学校の自立活動に対する医療機関に所属するリハビリテーション職種の連携におけるコンサルテーションの特徴—各リハビリテーション職種の専門性と作業療法士の役割—. *作業療法*, 41(4), 444-455.
- 3) 濱田匠, 笹田哲. (2022). わが国における重症心身障害児に対する作業療法実践の文献研究—特別支援教育の自立活動の協働における作業療法士の役割—. *発達障害研究* 第44巻第3号, 290-302.
- 4) 林慎也, 池田公平, 笹田哲. (2022). 右利き慢性期片麻痺者の麻痺手の使用頻度と健康統制感との関連. *作業行動研究*, 26(2), 57-64.
- 5) 森木勇一郎, 池田公平, 中村拓人, 笹田哲. (2022). 介護老人保健施設の作業療法士が実施する介護職と連携したクライアントへの支援のプロセス. *作業療法*, 41(5), 551-558.

3 学会等での活動

- 1) Kohei Ikeda, Satoshi Sasada : The reliability and validity of interprofessional collaborative practice assessment scale for therapists in medical institutions. 18th World Federations of Occupational Therapists (WFOT), 2022. 8. Paris.
- 2) 重田優子, 笹田哲：我が国の作業療法士は対象者の社会参加をどのように評価しているか—日本作業療学会事例報告演題抄録を対象とした文献的研究—. 第31回日本作業行動学会学術集会, 2022, 6. 高崎市

- 3) 野村真弓, 笹田哲: 急性期病院の認知症患者に対する作業療法と看護の情報収集と評価に関する文献レビュー, 第 31 回日本作業行動学会学術集会, 2022, 6. 高崎市
- 4) 神保匡良, 笹田哲: 作業療法学生は人間作業モデルのどの側面に興味・関心を持ったのか～強い学習意欲を示した学生の経験に焦点をあてた質的研究～, 第 31 回日本作業行動学会学術集会, 2022, 6. 高崎市
- 5) 丸岡ちひろ, 笹田哲. 作業療法士が脳血管疾患障害者に対し急性期より作業を用いる意義-作業療法士の語りから-. 第 56 回日本作業療法学会, 京都(2023.9.16)
- 6) 重田優子, 笹田哲. 日本の脳卒中研究において社会参加はどのように測定されてきたか. 第 56 回日本作業療法学会, 京都(2023.9.17)
- 7) 池田公平, 笹田哲. 回復期リハビリテーション病棟における多職種連携が脳卒中患者の日常生活活動に及ぼす影響. 第 56 回日本作業療法学会, 京都(2023.9.13).
- 8) 林慎也, 池田公平, 笹田哲. 脳卒中患者の患者報告アウトカムに関する文献研究. 第 56 回日本作業療法学会, 京都(2023.9.17).
- 9) 金原衣理子, 笹田哲. 女性の脳卒中者がファッションショーへの参加をきっかけに活動を広げていく心理プロセス.. 第 56 回日本作業療法学会, 京都(2023.9.17).
- 10) 佐藤慶一, 笹田哲. 脳卒中者のトイレ動作の自立度に関連する患者の要因はなにか. 第 56 回日本作業療法学会, 京都(2023.9.17).
- 11) 井上由貴, 笹田哲. 橈骨遠位端骨折の作業療法介入と評価の傾向について-過去 5 年分の文献レビュー-. 第 56 回日本作業療法学会, 京都(2023.9.17).
- 12) 後藤健太郎, 笹田哲. 児童虐待予防の支援に関する文献研究～作業療法士が抱える課題と今後に向けて～. 第 56 回日本作業療法学会, 京都(2023.9.16).
- 13) 濱田匠, 笹田哲. 重症心身障害児の自立活動に対するリハビリテーション職種の連携におけるコンサルテーション-各職種の専門性と作業療法士の役割-第 56 回日本作業療法学会, 京都(2023.9.16).
- 14) 高見澤広太, 笹田哲. 筆記具の把持形態が書字や描画にもたらす影響に関する文献研究第 56 回日本作業療法学会, 京都(2023.9.17).
- 15) 笹田哲. 小学国語写科で使用される教科書で示されている姿勢および鉛筆・毛筆の把持形態の特徴について. 第 56 回日本作業療法学会, 京都(2023.9.17).
- 16) 森木勇一郎, 笹田哲. 介護保険制度における介護福祉士の連携の実態. -作業療法士とのよりよい連携実践をめざして-. 第 56 回日本作業療法学会, 京都(2023.9.17).
- 17) 田中萌子, 笹田哲. 介護老人保健施設における環境に焦点をあてた作業療法士の取り組み-過去 5 年間の文献研究から-. 第 56 回日本作業療法学会, 京都(2023.9.16).

- 18) 杉山いずみ, 笹田哲. 生活介護事業所を利用する重症心身障害者に対する生活支援員の日中活動支援. 第 56 回日本作業療法学会, 京都(2023.9.17).
- 19) 村仲準一郎, 笹田哲. 回復期リハビリテーション病棟における実績指数に関する現状と課題-ナラティブレビュー-. 第 56 回日本作業療法学会, 京都(2023.9.16).
- 20) 神保匡良, 笹田哲. 作業療法学会登録演題から読み取る日本の作業療法教育の視点. -テキストマイニング-. 第 56 回日本作業療法学会, 京都(2023.9.16).
- 21) 田中雅士, 池田公平, 笹田哲. 回復期リハビリテーション病棟における新人作業療法士の職務遂行能力向上に対する動機づけ要因に関する研究. 第 56 回日本作業療法学会, 京都(2023.9.17).
- 22) 後藤健太郎, 笹田哲. 作業療法士がおこなう児童虐待予防の種類:実践エピソードの質的記述的分析. 日本子ども虐待防止学会第 28 回学術大会. 2022.12. 福岡市

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) NHK Eテレ特別支援教育「ストレッチマン・ゴールド」番組企画委員
- 2) 教育出版社 小学校教科書「国語科書写」 編集委員
- 3) 教育出版社 中学校教科書「国語科書写」 編集委員
- 4) 横須賀市建築審査会委員 2020.7.
- 5) 日本作業行動学会 理事
- 6) 日本発達系作業療法学会 理事
- 7) 日本発達系作業療法学会 学術誌査読委員
- 8) 第 56 回日本作業療法学会 演題採択委員

5 学内教育活動

- 1) 大学院博士後期課程 指導教員 6名
- 2) 大学院博士前期課程 指導教員 9名
- 3) 学部 卒業研究 指導教員 4名
- 4) 2022年オープンキャンパス リハビリテーション学科の紹介
- 5) 横須賀市馬堀小学校特別支援学級 交流授業 2022.11.

6 学内各種委員会活動

- 1) 学長補佐会議

- 2) 総務企画委員会
- 3) 学科長会議
- 4) 教育研究審議会
- 5) 昇任委員会、任期委員会
- 6) 研究科運営委員会
- 7) 内部質保証推進部会
- 8) 自己評価委員会

7 社会貢献

- 1) 神奈川県立養護学校自立活動（専門職）OT 部会アドバイザー2022.10.
- 2) 東京都特別支援学校 外部専門員 2022.10.

8 外部資金

- 1) 文部科学研究費助成事業「基盤 C 効果的な児童発達支援には何が必要か:評価指標の開発と促進因子の抽出」研究分担
- 2) 神奈川県作業療法士会研究助成事業 「書字の運筆における座位姿勢と体幹筋活動の関連」研究分担

9 新聞・放送等

- 1) NHK Eテレ「でこぼこポン」よい姿勢の発明品. 監修. 2023. 2.
- 2) NHK Eテレ「まいにちスクスク」楽しく遊んで指先を器用に（1）. 出演. 2022. 10.
- 3) NHK Eテレ「まいにちスクスク」楽しく遊んで指先を器用に（2）. 出演. 2022. 10.
- 4) 読売テレビ「とれたてリサーチ 鉛筆の不思議」. 出演. 2022. 11.
- 5) 朝日小学生新聞「鉛筆のよい持ち方」. 2022. 7.

10 受賞等

- 1) 日本作業行動学会 優秀論文賞
博士後期課程 杉山いずみ「生活介護事業所における利用者の作業参加 人間作業モデルスクリーニングを用いて」第31回日本作業行動学会学術集会 2022. 6.

森田 千晶（大学院保健福祉学研究科兼務）

3 その他の著作

- 1) 三輪書店国家試験模擬試験作問（義肢装具・福祉機器）

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本リハビリテーション工学協会理事
- 2) 義肢装具士国家試験幹事委員
- 3) 義肢装具 SIG 役員
- 4) ヒューマンサービス学会発起人

5 社会貢献

- 1) 高校訪問 3 校
- 2) 高校出張授業・ガイダンス 3 校
- 3) オープンキャンパス
- 4) 高校説明会
- 5)

7 学会等での活動

- 1) 第 38 回日本義肢装具学会学術大会座長
- 2) ヒューマンサービス学会発起人

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究科入試委員会副委員長
- 2) 研究助成専攻部会部会長
- 3) ヒューマンサービス委員会

奥原 孝幸（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 奥原孝幸、仙波浩幸他 4 名、精神医学（PT・OT ビジュアルテクニク専門基礎（共著）、羊土社、2022 年 10 月

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 横須賀市自殺対策推進協議会構成員（副座長）
- 2) 日本作業療法士協会教育部生涯教育委員会生涯教育制度推進担当
- 3) 日本作業療法士協会制度対策部保険委員会委員
- 4) 日本作業療法士協会事例報告登録制度審査委員
- 5) 日本作業療法士協会学会演題審査委員
- 6) 神奈川県作業療法士会理事（教育部担当）
- 7) 神奈川県作業療法士会代議員
- 8) 日本病院・地域精神医学会選挙管理委員会委員長
- 9) 横浜 CBT に集う会代表
- 10) 首都圏精神科作業療法連絡協議会理事
- 11) 精神科作業療法集談会世話人

5 社会貢献

- 1) 横須賀市保健所自殺対策連絡会（副座長）
- 2) 神奈川精神医療人権センター電話相談担当

6 講演，放送

- 1) 神奈川県作業療法士会 現職者研修「作業療法生涯教育概論」講演、令和 4 年 10 月

7 学会等での活動

- 1) 軽度認知障害の患者グループの音楽療法を実施した一事例～デイケア MCI 音楽療法プログラムを通して～第 22 回日本音楽療法学会学術大会、令和 4 年 9 月
- 2) 神奈川県作業療法士会 現職者研修事例報告会 座長、令和 5 年 2 月

8 学内教育活動

- 1) 精神障害作業療法演習. ピア（当事者）への面接演習を実施.
- 2) 就業援助論. 就労支援施設のピアスタッフ、メンバー、施設長を招き、職業に関してシンポジウム形式にて授業を実施.
- 3) チューター会
- 4) 精神障害作業療法学関連科目の担当

9 学内各種委員会活動

- 1) 人権・倫理委員会（委員長）
- 2) ハラスメント調査委員会委員

3) チューター制度におけるチューター

白濱 勲二（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 黒澤千尋, 小池友佳子, 白濱勲二, 藤田峰子, 玉垣努. (2023) コロナ禍における活動自粛が地域在住自立高齢者の心身機能に与えた影響—3年間の追跡調査から—. 神奈川県立保健福祉大学大学誌. 第20巻, 第1号, in press.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 白濱勲二. 日本作業療法士協会 学術誌 作業療法学 第1査読者
- 2) 白濱勲二. 日本作業療法研究学会 理事・編集同人
- 3) 白濱勲二. 三浦半島作業療法研究会 理事

5 社会貢献

- 1) 白濱勲二 オープンキャンパス 2022. 8. 6-7.
- 2) 白濱勲二 高等学校系統別説明会 荏田高等学校 2022. 6. 28.
- 3) 白濱勲二 高等学校系統別説明会 城郷高等学校 2022. 10. 4
- 4) 白濱勲二 高等学校系統別説明会 綾瀬高等学校 2022. 12. 12.
- 5) 白濱勲二 スーパーサイエンススクール (SSH) 横須賀高等学校 Principia I 担当教員 2022. 4～2023. 3.
- 6) 白濱勲二. 三浦半島作業療法研究会 研修会 企画運営・実施 (現在休止中).
- 7) 白濱勲二. 横須賀市社会福祉協議会 高齢者身体測定会 2022. 11. 19

8 学内教育活動

- 1) 白濱勲二. 学部担当科目等の視聴覚教材製作 通年
- 2) 白濱勲二. 学部卒業研究指導 通年
- 3) 白濱勲二, 学部4年生担任 通年
- 4) 白濱勲二. 保健学研究科における講義, 演習, 研究指導. 通年
- 5) 白濱勲二. 博士課程前期 指導教員および大学院生の教育・研究指導 通年
- 6) 白濱勲二. 博士課程後期 指導補助教員および大学院生の教育・研究指導 通年

9 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会 委員 2020年4月～現在
- 2) 時間割ワーキンググループ 委員 2020年4月～現在

14 その他

- 1) 白濱勲二 大学広報活動 高校訪問 神奈川県立横須賀高等学校 2022. 6. 29.
- 2) 白濱勲二 大学広報活動 高校訪問 聖園女学院高等学校 2022. 7. 5
- 3) 白濱勲二 大学広報活動 高校訪問 横浜雙葉高等学校 2022. 7. 6

玉垣 努（大学院保健福祉学研究科兼務）

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 令和4年度神奈川リハビリテーション事業団評議委員
- 2) ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会委員
- 3) 認定介護福祉士養成研修 認証審査員
- 4) 第57回 日本作業療法学会（沖縄）演題審査委員

5 社会貢献

- 1) 神奈川リハセンター 評議委員として評議委員会に出席した 6月28日
- 2) ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会（第9,10,11回）会議参加
- 3) 認定介護福祉士養成研修 認証審査を実施した

6 講演，放送

- 1) 神奈川県地域支援センター主催のハンドリング入門の対面での講義（4月23日）
- 1) EPoch エポックセミナー講習会を「脳卒中片麻痺患者様の上肢リーチ動作の獲得とリハビリテーションの進め方」のテーマでズームでの研修（8月12日19日）
- 2) Laugh 講習会にて「脊髄損傷のリハビリテーション」のテーマでズームでの研修（2月3日10日17日）
- 3) 埼玉県作業療法士会講習会にて「脊髄損傷のリハビリテーション」のテーマでズームでの研修（2月3日10日17日）

8 学内教育活動

- 1) 臨床指導者会議の運営を実施した
- 2) コロナ対策を準備した上で、対面にて3年生対象に実習に向けての身体障害領域の特別講義4日各2コマ実施した
- 3) 実際の頸髄損傷患者さんを見たことのない学生のために、臨床でのビデオを編集し講義の資料を作成
- 4) 身体障害作業療法演習において客観的臨床テスト（オスキー）を実施
- 5) 実際の患者さんを見たことのない学生のために、コロナ対策を準備した上で、対面にて日常生活援助論において頸髄損傷者及び脳卒中者を招聘し、実践的な教育を実施した
- 6) 人事小委員会にて昇任人事の委員
- 7) 臨床総合実習にて、コロナによる実習拒否実習地の代替え実習地を確保した。
- 8) 卒業研究において、5名のゼミ学生を指導し卒業・就職まで支援した。
- 9) 大学院前期課程の1名のゼミ生を指導し、1名が修了となった。

9 学内各種委員会活動

- 1) 全ての入試試験において面接官担当
- 2) オープンキャンパス参加
- 3) 研究委員会 委員長
- 4) 実習ステーション WG

- 5) 入試委員会協力で、1箇所の高校への電話での依頼、2箇所の高校の入試への訪問
- 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託
- 1) 東京大学インクルーシブ・デザイン・ラボ プロジェクトの共同研究

長山 洋史 (大学院保健福祉学研究科兼務)

2 学術論文

- 1) Yamakawa S, Nagayama H, Tomori K, Ikeda K and Niimi A (2023) Effectiveness of active occupational therapy in patients with acute stroke: A propensity score-weighted retrospective study. *Front. Rehabil. Sci.* 3:1045231. doi: 10.3389/fresc.2022.1045231 (Share first authorship and Corresponding Author)
- 2) Kudo M, Ito H, Sato K, Nagayama H, Fujisawa S, Yoshioka T. Comment on: Differential effect of anticoagulation according to cognitive function and frailty in older patients with atrial fibrillation. *J Am Geriatr Soc.* 2023 Jan 11.
- 3) 中村拓人, 佐野未歩, 小山さくみ, 長山洋史, & 笹田哲. (2022). 自閉症スペクトラム症児のための参加質問紙: 項目の開発と内容妥当性の検証. *日本作業療法研究学会雑誌* 25(1): 7-14, 2022

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本作業療法協会学術誌「作業療法」査読者
- 2) 日本臨床作業療法学会誌 論文査読委員
- 3) 日本作業療法士協会 組織的学術研究体制ワーキンググループ 委員
- 4) 日本作業療法学会 演題査読委員 座長
- 5) 日本老年療法学会 評議員
- 6) 慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員

5 社会貢献

- 1) *Archeves Physical medicine and Rehabilitation*(国際誌), 作業療法 (国内学会誌), 保健医療学雑誌, 日本老年療法学会誌の査読.
- 2) 高校への出張講義, 進路ガイダンス 7校
- 3) 高校生の大学見学受け入れ 1校
- 4) オープンキャンパス 出席
- 5) ミニオープンキャンパス 企画運営

6 講演, 放送

- 1) シンポジウム: 「脳卒中患者の社会的活動の促進」
座長: 野添匡史
演者: 三浦佳代, 長山洋史, 萩野未沙
第1回老年療法学会, 沖縄

7 学会等での活動

- 1) Takeda T, Nagayama H, Inoue N, Niimi A. Impact of intensive rehabilitation on medical costs and readmission after discharge in sub-acute stroke patients: An instrumental variable analysis of a retrospective cohort study. 18th WFOT Congress in Paris and online. 2022

- 2) Nagayama H, Yamakawa S, Ikeda K, Niimi A, Tomori K. Effectiveness of active occupational therapy on functional outcomes for acute stroke patients: A propensity score matched analysis based on Japan Rehabilitation Database. 18th WFOT Congress in Paris and online. 2022
- 3) Niimi A, Nagayama H, Inoue N, Takeda T. Classification of acute stroke patients by their characteristic and clinical severity: the use of latent class analysis. 18th WFOT Congress in Paris and online. 2022
- 4) 長山洋史, 山川栞, 友利幸之介, 池田公平, 新美彩花. 急性期脳卒中患者に対する積極的作業療法が効果的な患者特性の検証. 第56回日本作業療法学会, 京都, 2022

8 学内教育活動

- 1) 大学院前期博士課程 1名 指導教員
- 2) 身体機能評価学Ⅰ 科目責任者
- 3) 身体機能評価学Ⅱ 科目責任者
- 4) 評価学演習 科目責任者
- 5) 運動学 科目責任者
- 6) 作業療法概論
- 7) 地域作業療法学
- 8) 日常生活活動論
- 9) 研究法
- 10) 機能障害作業療法学
- 11) 機能障害作業療法学演習
- 12) 学部1年生担任

9 学内各種委員会活動

- 1) 学部入試委員

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金 基盤研究B:「脳卒中患者の全体像予測システムに基づくリハビリテーション治療戦略」研究代表者
- 2) 科学研究費補助金 基盤研究C:「効果的な児童発達支援には何が必要か: 評価指標の開発と促進因子の抽出」分担研究者

11 学内研究助成金の受託

- 1) 渡邊 恵研究代表者, 長島 俊輔, 加藤木 真史, 佐々木 杏子, 森 朱輝, 水戸 優子, 藤田 峰子, 長山 洋史, 池田 公平, 黒澤 千尋, 五味 郁子, 樋口 良子, 福岡 梨紗, 玉川 淳, 高橋 恭子, 岸川 学, 志村 華絵. 事例提供ツールとしての模擬電子カルテの開発と導入～多職種連携能力育成を意図した事例学習プログラムの検討と教育評価～. 令和4年度学長推薦研究費, 2,500千円, 2022.7.19～2023.3.31.

小河原 格也 (大学院保健福祉学研究科兼務)

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本作業療法士協会事例登録 審査委員
- 2) 神奈川県作業療法士会 認知症対策委員会
- 3) 第19回神奈川県作業療法学会 事務局長
- 4) 三浦市地域ケア連携会議 構成員
- 5) 三浦市地域包括支援センター運営懇談会 構成員

5 社会貢献

- 1) グループホームいずみ運営推進会議 構成員
- 2) 小規模多機能なかよし運営推進会議 構成員
- 3) RUN 伴+三浦半島 実行委員
- 4) 認知症フレンドリーよこすか
- 5) オープンキャンパス

6 講演, 放送

- 1) 厚生労働省指定 神奈川県作業療法士会 臨床実習指導者講習会 講師・世話人
- 2) 横須賀市地域型介護予防サポーター養成講座 講師
- 3) 三浦市医師会 第2回在宅医療ミーティング 講師
- 4) 横須賀市西第一地域包括支援センター 底力アップ教室 講師
- 5) 神奈川県作業療法士会 現職者選択研修 (老年期) 講師

8 学内教育活動

- 1) 老年期作業療法学, 老年期作業療法学演習 科目責任者
- 2) 地域作業療法学, 地域作業療法学演習 科目責任者
- 3) 学部担当科目 (一部担当分)
作業療法概論、評価学概論、運動学、遊び・余暇活動治療学、作業療法理論、管理運営、卒業研究、在宅看護学、評価学実習Ⅰ・Ⅱ、総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ
- 4) 大学院担当科目 (一部担当分)
機能障害作業療法学、機能障害作業療法学演習
- 5) 学部卒業研究指導 (4年生2名、3年生2名)
- 6) 大学院副指導教員 (3名)
- 7) 作業療法学専攻3年生担任
- 8) Windsurfing サークル顧問
- 9) SPOT サークル顧問

9 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献研究センター 研究支援部門
- 2) 開学20周年記念事業 企画ワーキンググループ
- 3) 作業療法学専攻 新カリキュラム実習検討委員

- 4) 作業療法学専攻 現任者教育検討委員

- 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託
 - 1) 科学研究費補助金
若手研究「高齢者の運動学習における脳内活動の縦断的变化と補助手段活用による促進効果の検証」小河原格也
 - 2) 科学研究費補助金・分担
基盤研究(C)「脳卒中患者に対する退院前訪問指導マニュアルの開発」黒河内仙奈, 間瀬由記, 島津尚子, 小河原格也, 末田千恵

池田 公平

2 学術論文

- 1) Kohei Ikeda, Satoshi Sasada. (2022). Development of a new scale for the measurement of interprofessional collaboration among occupational therapists, physical therapists, and speech-language therapists. *Hong Kong Journal of Occupational Therapy*, 35(2), 146-153.
- 2) 林慎也, 池田公平, 笹田哲. (2022). 右利き慢性期片麻痺患者の麻痺手の使用頻度と健康統制間との関連. *作業行動研究*, 26(2), 57-64.
- 3) 森木勇一郎, 池田公平, 笹田哲. (2022). 介護老人保健施設の作業療法士が実施する介護職と連携したクライアントへの支援のプロセス. *作業療法*, 41(5), 551-558.
- 4) Shiori Yamakawa, Hirofumi Nagayama, Kounosuke Tomori, Kohei Ikeda, Ayaka Niimi. Effectiveness of active occupational therapy in patients with acute atroke: A propensity score-weighted retrospective study. *Frontiers in Rehabilitation Sciences*, 2022. doi, 10.3389/fresc.2022.1045231

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県作業療法士会 選挙管理委員長
- 2) 令和4年度老人保健事業推薦費等補助金(老人保健健康増進等事業分)事業【56番】リハビリテーション・機能訓練, 口腔, 栄養の一体的取組に関する調査研究事業 事業実施小委員会 構成員

5 社会貢献

- 1) 2022年度大学機関別認証評価 実地調査にてステークスホルダーとして「ヒューマンサービスを実践できる人材の育成-ヒューマンサービスを軸とした研究・教育・実践の統合-」をテーマにプレゼンテーションを行なった. 2022.10.6.
- 2) 朋友会教育講演会(横浜市立附属市民医療センター, 横浜市脳卒中・神経脊椎センター, 横浜市立附属病院のリハスタッフが参加)にて, 「臨床疑問から研究へ-チーム医療って実際は効果あるの? どんな効果?-」をテーマにプレゼンテーションを行なった. 2022.11.9.
- 3) 第12回ヒューマンサービス研究会のシンポジストとして出席. 「ヒューマンサービスと実践-20年の歩みとこれからの展望-」というテーマでプレゼンテーションを行なった. 2022.10.30.
- 4) 横浜柏堤会 よこすか浦賀病院にて診療指導および地域医療への協力
- 5) 本学オープンキャンパス, ミニオープンキャンパスの企画・運営補助

6 講演, 放送

- 1) 川崎市麻生区主催の講演「健康への3つの柱『食事・運動・〇〇』」. 2023.1.28.

7 学会等での活動

- 1) Kohei Ikeda, Satoshi Sasada. The reliability and validity of interprofessional collaborative practice assessment scale for therapists in medical institutions. 18th

WFOT congress. 27-30.3.2022.(ポスター)

- 2) Hirofumi Nagayama, Shiori Yamakawa, Kohei Ikeda, Ayaka Niimi, Kounosuke Tomori. Effectiveness of active occupational therapy on functional outcomes for acute stroke patients: A propensity score matched analysis based on Japan Rehabilitation Database. 18th WFOT congress. 27-30.3.2022.(ポスター)
- 3) 池田公平, 笹田哲. 回復期リハビリテーション病棟における多職種連携が脳卒中患者の日常生活活動に及ぼす影響. 第 56 回日本作業療法学会 (京都). 2022.9.16-18. (ポスター)
- 4) 林慎也, 池田公平, 笹田哲. 脳卒中患者の患者報告アウトカムに関する文献研究. 第 56 回日本作業療法学会 (京都). 2022.9.16-18. (ポスター)
- 5) 黒河内仙奈, 長島俊輔, 岸川学, 池田公平, 樋口良子, 田中和美: 谷戸地区で暮らす高齢者の健康増進活動に関する実態調査. 日本老年看護学会第 27 回学術集会抄録集, 185, 2022.
- 6) 長島俊輔, 岸川学, 池田公平, 田中和美, 樋口良子, 黒河内仙奈. 谷戸地区に住む高齢者の睡眠とフレイルの関連. 第 12 回ヒューマンサービス研究会. 2022.10.30. (ポスター)

8 学内教育活動

- 1) 評価学概論 科目責任者
- 2) 身体機能評価学Ⅰ 15 コマ
- 3) 身体機能評価学Ⅱ 15 コマ
- 4) 評価学演習 15 コマ
- 5) 作業療法概論 1 コマ
- 6) 身体障害作業療法学演習 (試験補助)
- 7) 臨床作業療法学演習 科目責任者
- 8) 地域作業療法学 1 コマ
- 9) 作業療法管理運営 1 コマ
- 10) 解剖学実習Ⅱ (引率)
- 11) 学内実習
 - 総合臨床実習Ⅱ (1名1週間)
 - 評価学実習Ⅱ (1名3週間)
 - 高齢者看護学実習: 多職種コンサルテーション (3日間 6コマ)
- 12) 総合臨床実習Ⅱ 科目責任者
- 13) 運動学 15 コマ
- 14) 卒業研究では, 学生 1 名に対して, 卒業研究の計画立案, データ収集, データ解析, 結果のまとめ, プレゼンテーション, 論文執筆の指導・補助を行なった.
- 15) 身体機能評価学Ⅰ・Ⅱにて視聴覚教材を作成した. 視聴覚教材の具体的な内容は, 教員 2 名が脳血管疾患患者と作業療法士の役割を演じ, 面接・評価・介入など作業療法士の臨想的思考過程を追体験できるものとした.
- 16) 作業療法専攻内では, OSCE ワーキンググループに所属し, OSCE 課題の内容の検討, 当日スタッフの手配, 配置, 会場設営などを行った.
- 17) 2022 年度 実践的作業療法臨床実習指導者講習会 作業療法参加型臨床実習指導者向け

シンポジウム 実習学生を成長させる「見学・模倣・実施」の極意. 2023年3月11日(土)
サポート教員として参加した.

9 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会に所属
- 2) 進路支援ワーキンググループに所属
- 3) 入学式・卒業式・修了式委員会

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 脳卒中後遺症患者の自立生活支援のための多職種連携評価尺度の開発 (課題番号: 20K19452). 令和2年度～令和5年度. 研究代表者
- 2) 脳卒中患者の全体像予測に基づくリハビリテーション治療戦略 (課題番号: 20H03914) 令和2年度～令和5年度. 研究分担者.
- 3) 令和4年度 厚生労働省 老人保健事業推進等補助金 (老人保健健康増進等事業分) 「リハビリテーション・機能訓練, 口腔, 栄養の一体的取り組みに関する調査研究事業」の研究メンバー
- 4) 高齢者の健康寿命の延伸に寄与するリハビリテーション戦略の開発に向けた調査研究-**ME-BYO & MI-RIZE Project**-. 神奈川県みらい未病コホート研究の研究メンバー

11 学内研究助成金の受託

- 1) 池田公平 (研究代表者). 脳血管疾患患者のメンタルヘルスがリハビリテーションの効果に及ぼす影響. 令和4年度研究助成 B (奨励研究), 512 千円, 2022.4.1～2023.3.31
- 2) 黒河内仙奈 (研究代表者), 岸川学, 池田公平, 長島俊輔, 田中和美, 樋口良子, 福岡梨紗, 渡邊恵, 末田千恵. 地域特性を反映した領域横断型学習教材の開発. 研究助成 A, 362,970 円, 2022.6.2～2023.3.31.
- 3) 渡邊 恵 (研究代表者), 長島 俊輔, 加藤木 真史, 佐々木 杏子, 森 朱輝, 水戸 優子, 藤田 峰子, 長山 洋史, 池田 公平, 黒澤 千尋, 五味 郁子, 樋口 良子, 福岡 梨紗, 玉川 淳, 高橋 恭子, 岸川 学, 志村 華絵. 事例提供ツールとしての模擬電子カルテの開発と導入～多職種連携能力育成を意図した事例学習プログラムの検討と教育評価～. 令和4年度学長推薦研究費, 2,500 千円, 2022.7.19～2023.3.31

杉村 直哉

1 著書

- 1) 杉村直哉 (編集責任), 他 (2023). 作業療法マニュアルシリーズ「精神科作業療法計画の立て方」. 日本作業療法士協会. 東京.
- 2) 杉村直哉, 他 (2023). 精神科リハビリテーション評価技法ハンドブック. 中外医学社. 東京. (印刷中)
- 3) 杉村直哉, 他 (2023). うつ病の作業療法. 最新作業療法学講座 精神障害作業療法学. 医歯薬出版. (印刷中)

2 学術論文

- 1) 杉村直哉, 武井勇樹, 稲垣佑輔, 藤井恭平: 難治性不安症と作業療法. 特集「難治性精神疾患と作業療法」. 臨床作業療法 NOVA. 青海社. (印刷中)

3 その他の著作

- 1) 杉村直哉, 高橋健, 武井勇樹, 木村真実, 岡田明日香, 京極明季, 堀江祐介, 廣尚典 (2022). うつ病休業者の職場復帰後の転帰とリワークプログラム実施期間の関連 傾向スコアマッチング分析による検討. 産業精神保健. 30 巻増刊. pp.153
- 2) 日本作業療法士協会学術部学術委員会マニュアル編集班 (東登志夫, 清野敏秀, 小林毅, 近野智子, 杉村直哉, 竹原敦, 田中亮, 坪井理佳, 畠山久司, 守谷梨絵, 山本泰雄) (2023). 作業療法マニュアルシリーズ「通所リハビリテーションの作業療法」. 日本作業療法士協会. 東京.
- 3) 日本作業療法士協会学術部学術委員会マニュアル編集班 (東登志夫, 清野敏秀, 小林毅, 近野智子, 杉村直哉, 竹原敦, 田中亮, 坪井理佳, 畠山久司, 守谷梨絵, 山本泰雄) (2023). 作業療法マニュアルシリーズ「子どもの通所支援における作業療法」. 日本作業療法士協会. 東京.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 学会: 日本産業精神保健学会. 代議員
- 2) 学会: 日本産業精神保健学会. 専門職部会「作業療法部会」設立準備 事務局長
- 3) 委員: 日本作業療法士協会. 学術誌「作業療法」第2査読者
- 4) 委員: 日本作業療法士協会. 学術部学術委員会. 作業療法マニュアル編集委員
- 5) 委員: 日本作業療法士協会. 学術部学術委員会. 書記
- 6) 委員: 神奈川県作業療法士会. 教育部
- 7) 研究会: 産業保健作業療法研究会. 事務局長
- 8) ネットワーク: 信州精神科作業療法研究会. メーリングリスト管理者

5 社会貢献

- 1) 研究指導: 非常勤勤務する医療施設において研究指導を実施 (通年)
- 2) 臨床活動: 非常勤勤務する医療施設においてプログラムを担当 (1回/週)

6 講演、放送

- 1) 神奈川県作業療法士会エリア化推進委員会主催. OT コネクトミーティング講師. 講演テーマ「メンタルヘルス」. (2022.8.25)
- 2) 公的精神科病院協会主催. 精神科作業療法士研修会. 当事者が望む生活を実現する精神科作業療法計画書作成技術研修. ファシリテーター. (2022.10.1)

7 学会等での活動

- 1) 研修会: 2022年6月1日産業保健作業療法ミーティング. 産業保健作業療法研究会事務局 (参加者 45名)
- 2) 学会発表: 2022年7月9-10日 第29回日本産業精神保健学会
杉村直哉, 高橋健, 武井勇樹, 木村真実, 岡田明日香, 京極明季, 堀江祐介, 廣尚典: うつ病休業者の職場復帰後の転帰とリワークプログラム実施期間の関連; 傾向スコアマッチング分析による検討. (筆頭演者)
- 3) 学会発表: 2022年7月14-17日 第19回日本うつ病学会総会&第5回日本うつ病リワーク学会年次大会
杉村直哉, 鳴海優大, 武井勇樹, 木村真実, 京極明季, 岡田明日香, 高橋健, 堀江祐介: 欠勤に対するリワークプログラムにおけるフォローアップの意義. (筆頭演者)
- 4) 研修会: 2022年11月2日産業保健作業療法ミーティング. 産業保健作業療法研究会事務局 (参加者 63名)
- 5) シンポジスト: 2022年11月26日 第3回日本うつ病作業療法研究会学術大会
杉村直哉. シンポジウム「うつ病作業療法の拡がり」～産業保健と作業療法～
- 6) 学会発表: 2022年11月26日 第3回日本うつ病作業療法研究会学術大会
武井勇樹, 鳴海優大, 高橋健, 京極明季, 杉村直哉: リワークプログラム修了後のフォローアップについて ～再発予防に繋げる環境設定の一考察～. (共同演者)

8 学内教育活動

1) 授業関連

【科目責任】

- ・「基礎作業学実習 (1年次)」
より臨床に即した基礎作業を提供するよう授業内容と講師についての見直しを行った。
また、当科目にかかわる国家試験問題を学習早期から意識づけるよう資料を作成する等の工夫をした。
- ・「見学評価学実習, 評価学実習」
学生へのオリエンテーションも含め、円滑な実習の実施をサポートした。

【卒業研究】

- ・4年生1名, 3年生1名を担当した。調査研究を通して基本的な統計処理について教示し、論文指導を行った。

【一部担当科目】

- ・作業療法学概論(1年次): 精神障害作業療法の歴史
- ・作業適用学(1年次): 精神障害事例の検討
- ・評価学概論(1年次): 作業面接について

- ・精神機能評価学演習(2年次): 認知機能障害について
- ・感覚運動アプローチ論(3年次): 精神障害へのアプローチ
- ・精神障害作業療法学演習(3年次): 精神科デイケア, ICF
- ・遊び余暇活動治療学(3年次): リラクゼーション法
- ・産業リハビリテーション特論(3年次): 産業精神保健・職業性ストレスについて
- ・就業援助論(3年次): 気分障害の職場復帰支援について
- ・作業療法運営管理(4年次): 管理運営, 国家試験対策
- ・臨床技能評価(2年次): 精神科 OSCE マニュアルと試験問題を作成
- ・臨床技能評価(3年次): 精神科 OSCE マニュアルと試験問題を作成, 試験監督

【実習】

- ・評価学実習(3年次): 学内実習 学生 2名担当
 - ・総合臨床実習Ⅱ(4年次): 学生 2名担当, 実習地訪問
 - ・総合臨床実習Ⅰ(3年次): 学生 2名担当, 実習地訪問
 - ・見学評価学実習(2年次): 学生 5名担当
- 2) 臨床実習に係る業務 (学生支援, 実習関連書類作成, 等)
 - ・実習地や実習センターとの調整, 学生に対するオリエンテーションの実施, 資料作成, 発送, 臨床実習指導者会議のセッティングなど臨床実習に係る業務
 - 3) 就職支援に関連する業務
 - ・就職履歴書指導, 小論文指導, 面接指導など就職支援に係る業務
 - 4) 国家試験に対する支援業務
 - ・4年生の国家試験の学習支援.

9 学内各種委員会活動

- 1) FD・SD委員会
- 2) チューター会
- 3) 作業療法学専攻 臨床実習ワーキンググループ
 - ・新カリキュラムに対応した臨床実習の検討
- 4) 作業療法学専攻 現任者研修検討ワーキンググループ
 - ・3月11日に作業療法参加型臨床実習 指導者向けシンポジウム「実習学生を成長させる「見学・模倣・実施」の極意」を開催

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金, 若手研究, 研究代表者, 「ブルドン抹消検査を用いたうつ病休職者の新たな復職判定指標の確立」, 2021年4月1日～2025年3月31日, 3900千円

11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B, 研究代表者, 「メンタルヘルス不調者に対するリワークプログラムによるフォローアップ効果の検討」, 2022年度, 424千円

中村 拓人

2 学術論文

- 1) 中村拓人, 佐野未歩, 小山さくみ, 長山洋史, & 笹田哲. (2022). 自閉症スペクトラム症児のための参加質問紙：項目の開発と内容妥当性の検証. 日本作業療法研究学会雑誌 25(1) : 7-14, 2022
- 2) 森木勇一郎, 池田公平, 中村拓人, & 笹田哲. (2022). 介護老人保健施設の作業療法士が実施する介護職と連携したクライアントへの支援のプロセス. 作業療法, 41(5), 551-558.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県作業療法士会 選挙管理委員

5 社会貢献

- 1) 発達障害児に関わる支援者を対象とした「気になる子どもの学習と生活研究会」の運営を行う.
- 2) 子どもと家族を対象とした「体の使い方教室」の運営を行う.
- 3) 特定非営利活動法人 Spitzen Performance 主催のチャレンジドチアインストラクターライセンス講習会にて講師を行う.
- 4) 静岡県立伊東高校にて高校生向け出張講座の講師を行う

7 学会等での活動

- 1) 作業療法士の臨床実践を改善するために作業遂行コーチングを用いた 1 例. 中村拓人, 小山さくみ, 笹田哲. 日本発達系作業療法学会 第 10 回学術大会(Web 開催). 2023 年 3 月
- 2) ダウン症児のインソール処方運動発達を促進するか：後ろ向きコホート研究. 小島賢司, 中村拓人. 第 9 回日本小児理学療法学会学術会抄録集 Page P-04-01(2022.11)
- 3) 作業療法士がおこなう児童虐待予防の種類:実践エピソードの質的記述的分析. 後藤健太郎, 中村拓人, 笹田哲. 日本子ども虐待防止学会第 28 回学術集会ふくおか大会. 2022 年 12 月

8 学内教育活動

- 1) 「作業適用学」で科目責任者を務める (通年). 新入生が作業療法に対する具体的なイメージを持つことができるよう, 講義だけではなく, 視聴覚教材や, ワークショップ形式も採用した. また専攻教員に協力を求め, グループに別れて事例を検討する問題解決型の授業を行った. さらに見学実習では, 実習の企画・運営を行った.
- 2) 「総合臨床実習 I」で科目責任者を務める (通年). 初めて総合臨床実習であるため, オリエンテーションおよび OSCE を事前に実施した.
- 3) 「評価学概論」では「QOL・役割・興味の評価」の回を担当した (2023 年 1 月 30 日).
- 4) 「発達系評価学」に補助として講義に参加し, およそ半分程度の講義を受け持つ (通年).
- 5) 「発達障害作業療法学」に補助として講義に参加し, およそ半分以上の講義を受け持つ (通年).
- 6) 「発達障害作業療法学演習」は補助教員として全ての講義に参加 (通年).

- 7) 「遊び余暇活動治療学」ではおよそ4分の3程度の授業を担当する(通年)。
- 8) 「地域作業療法学」で講義を担当する。(2022年4月15日, 5月27日)
- 9) 「感覚運動アプローチ論」で講義を2回担当し(2020年4月14日, 4月21日), 補助教員としても一部の授業に参加する。
- 10) 「作業療法研究法」(2022年11月14日)では質的研究の講義を担当した。
- 11) 「臨床作業用法学演習」では, 実技試験(OSCE)(2022年12月9日)を担当した。
- 12) 「作業療法管理運営」では講義(2022年11月8日)を担当した。
- 13) 「作業療法理論」では講義(2022年7月7日)を担当し, 一部の授業に補助教員として参加する。
- 14) 「ヒューマンサービス演習」では半分程度の授業に補助教員として参加
- 15) 「徒手療法特論」では半分程度の授業に補助教員として参加

9 学内各種委員会活動

- 1) 実習センター運営委員会

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 昨年度に引き続き科学研究費助成事業基盤Cを受託